

2022年 サステナビリティ・ レポート - エグゼク ティブ・サマリー

ヘルスケアの無限の可能性を追求し、より良い社会を実現する



Peter J. Arduini (ピーター・アルドゥイーニ) 社長兼CEOからのメッセージ



「ESGへの配慮は当社のビジョンの中心となる要素です。そして、これらの理念を事業とリスク管理の中核に組み込むことに努めています。」

GEヘルスケアのサステナビリティへの取り組みについては、[2022年サステナビリティ・レポートをご覧ください](#)

ステークホルダーの皆さま

2023年1月、GEヘルスケアは、限界のないヘルスケア世界の創造を目的に、独立系上場企業としての道を歩み始めました。私たちは、長年サステナビリティに取り組んでまいりました。そしてこの取り組みと共に、ヘルスケアの進歩のために革新的なソリューションを提供してきたという輝かしい歴史にしっかりと根ざした、患者中心の組織を構築するために協力していきます。私たちは、最高基準を維持し、当社の出発点となる基盤を確立した人々の責務を引き継ぎます。そのため、GEヘルスケアの第1回サステナビリティ・レポートを皆さまにお届けできることを嬉しく思います。

世界とどう関わりたいか、そしてお互いにどのように関わってきたいかを再定義し、その中で私たちは新たな考え方を持つようになりました。私たちは、GEヘルスケアの歴史的な強みを最大限に活用すると同時に、将来に向けた新たな機能を開発し、より緊密で協力的、そして機敏かつ革新的で、人々に力を与えるような企業文化へとシフトしていきます。また、社内のあらゆるレベルで連携と説明責任を強化し、意思決定を迅速化し、分かりにくい要素を取り除いて業務効率を高めています。

ESGへの配慮は当社のビジョンの中心となる要素です。そして、これらの理念を事業とリスク管理の中核に組み込むことに努めています。当社のサステナビリティ・プログラムが成長を続け、目標に向かって前進している今年、多くの面で進歩を遂げられたことを報告できることを非常に喜ばしく思っています。2022年11月、サステナビリティと企業責任の原則が当社の事業と経営システムに完全な形で統合されている点を評価したEcoVadisは、この努力に対しシルバーの評価を当社に付与しました。

新しい取締役会の監督のもと、複数のレベルでサステナビリティへの取り組みに重点を置くリーダーシップ機能を策定しました。まず、ケルビン・サンボーンを新しいESGプログラムリーダーに任命しました。また、当社のサステナビリティの取り組みを推進し、これを事業の中核に組み込むために、企業横断的な常設委員会も設立しました。

同委員会は、コーポレート・マーケティング&コミュニケーション最高責任者と、多様性・公平性・包括性最高責任者、そして環境安全衛生部、法務部、財務部、企業リスク管理部の代表者で構成されています。

昨年の終わりには、当社の多様性・公平性・包括性戦略を確立および推進するために、アビゲイル・エパネ・オスアラを新しい多様性・公平性・包括性最高責任者に任命しました。当社は彼女のリーダーシップのもと、皆から受け入れられ、尊重され、意見に耳を傾けてもらえる、また帰属意識を感じられる環境で、従業員が最高の能力を発揮できる包括的な文化を育むことに尽力しています。私たちはこのような文化の実現に取り組んでおり、データ主導のアプローチを活用することに意識的に重点を置いて優先順位を決定しています。また、企業慈善活動やボランティア活動の戦略を策定するために企業の社会的責任チームを立ち上げました。さらに、2024年には、グローバル・コミュニティにおけるこのような取り組みを支援するために、GEヘルスケア財団を設立する予定です。

気候変動への取り組みに関して言えば、2030年までにスコープ1とスコープ2の排出量を50%削減するという当社の短期目標に沿って、2019年以降、事業活動による温室効果ガス（GHG）排出量を27%削減しました。機器や部品の再利用を促進することで廃棄物を削減する当社のプログラム「GoldSeal」により、私たちは約6,700台の画像診断装置および超音波診断装置を回収し、515万キログラムを超える潜在的な埋め立て廃棄物を転用しています。

また、保健分野の脱炭素化と、気候変動の影響に対するヘルスケア施設の耐性を高めるために、保健福祉省とホワイトハウスの誓約に参加することで、環境への取り組みを改めて確認しました。

こうした成果は私たちに勇気を与えてくれます。ですが、まだまだやるべきことがあることも分かっています。当社はヘルスケアエコシステムにおいて固有の地位を維持しています。そのため、5つの主要分野で最大のインパクトを与えることができます。

- 質の高いヘルスケアへのアクセス拡大。
- 多様性、公平性、包括性の推進。
- 気候の影響の緩和と、緩和に伴う回復力の強化。
- 循環型経済と環境デザインの推進。
- 患者データの保護とサイバーセキュリティ。

これらの重点分野は、イノベーション、製品品質、誠実さに対するGEヘルスケアの長年の取り組みに支えられています。

2023年および今後数年間に予定されている活動は多岐にわたっています。そして、私たちは、サステナビリティのプロセスを進めるために重要な次のステップを踏み出します。その筆頭が、2023年末までにSBTi（Science Based Targetsイニシアチブ）に提出する温室効果ガス削減目標の準備です。短期的活動の予定リストについては、本レポートの「2022年のハイライトと今後の展望」セクションをご覧ください。

気候変動、構造的な不平等、そして世界的な健康格差の脅威が高まる中、私たちは、自らの目的を果たし、当社の取り組みを完全に遂行することが、かつてないほど重要になっていることを認識しています。私たちは、進捗状況をステークホルダーの皆さまに必ずお伝えします。これは、常に揺るぎない誠実さで倫理的に行動するという当社の価値観と密接な関係があります。この第1回サステナビリティ・レポートが、その取り組みに沿うものであると信じています。皆さまのご意見やご感想をお待ちしております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

Peter J. Arduini
社長兼CEO

サステナビリティ・ガバナンスと優先分野

ガバナンスの構造

取締役会/取締役会委員会		
GEヘルスケアのエグゼクティブ・マネジメント		
企業スチュワードシップ・プログラム委員会		
パーパス (企業の存在理由)	監督と管理機能	役割
<p>GEヘルスケアの企業スチュワードシップ・プログラムは、取締役会と経営陣が担うコーポレートガバナンスの責務に沿って、会社の事業と運営に影響を及ぼす可能性のあるリスクと機会を積極的に特定および評価し、これらに対応します。</p>	<p>取締役会は、経営陣による企業戦略の確立と実行、および当社のESGプログラムや活動を監督します。潜在的なESGのリスクと機会を常に把握できるよう、取締役会は定期的に最新情報の報告を受けます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ESP委員会共同委員長：ESGプログラムリーダーおよびERMプログラムリーダー（グローバル・ロー＆ポリシー）がESP活動を調整します。 • メンバー：GEヘルスケアの経営陣が指名するESP委員会のメンバーは、GEヘルスケアの地域、セグメント、機能の代表としての役割を担います。同メンバーは、当社の事業活動に関する専門知識と、GEヘルスケアが直面するリスクおよび機会に関する認識について情報を収集します。 • ESGプログラムリーダー：広範なESG環境全体でそれぞれのプログラムを主導する各主題専門家とともに、ESGの実践とイニシアチブを管理します。 • ERMプログラムリーダー：会社の重大リスクを積極的に特定、評価、監視、報告するために、ERMの実践とイニシアチブを管理します。

重要性評価

GEヘルスケアがまだGEの事業であった2021年、私たちにとって最大の影響、リスク、機会を特定するために、幅広いESGのテーマ全体にわたり第三者と提携してESG重要性評価を実施しました。この評価の目的は、サステナビリティ戦略に最も関連性が高いと考えられる優先テーマのリストを作成することでした。

GEヘルスケアにとって最も重要な事項を特定するために、100人以上の社内外のステークホルダーを関与させました。

同評価プロセスの最終成果品であるESG重要性評価マトリックスでは、次の5つの優先分野が特定されました。

- 世界中の恵まれない人々に対しヘルスケアへのアクセスを拡大する。
- すべての従業員が最高の能力を発揮できる包括的な文化を育むことにより、企業全体で多様性、公平性、包括性を推進する。
- SBTiに沿って温室効果ガス排出量の削減に取り組むことで、気候への影響を緩和し、回復力を強化する（具体的な目標やゴールについては、サステナビリティ・レポートの「気候」のセクションをご覧ください）。
- 取り外した機器や部品の再利用を促し、製品の設計段階で環境への配慮を取り入れることで、循環型経済と環境デザインを推進する。
- 主に一般データ保護規則（EUのGDPR）および類似の個人情報保護法に基づき、世界標準であるデータプライバシーに対するアプローチを採用することで、患者データとサイバーセキュリティを保護する。

当社は、見識を深め、透明性をもって私たちの優先事項を伝えるために、お客様、サプライヤー、従業員、投資家、政府機関、患者団体、NGO、業界団体、そして私たちが事業を展開する地域社会などの社内外のステークホルダーと日常的に連絡を取り合っています。

2022年のハイライトと今後の展望

環境

☀️ 気候の影響の緩和と回復力の強化

- 2030年までにスコープ1とスコープ2の排出量を50%削減し、2050年までに実質ゼロにするという短期目標に沿って、2019年以降、当社の事業活動による温室効果ガス（GHG）排出量を27%削減しました。
- 気候影響削減の主要業績評価指標（KPI）と目標を2023年末までに提供し検証を受けるために、SBTiに登録しました。
- 保健分野の脱炭素化と、気候変動の影響に対するヘルスケア施設の耐性を高めるために、保健福祉省とホワイトハウスの誓約に参加しました。

🌐 循環型経済と環境デザインの推進

- GEヘルスケアの循環性プログラムの中核をなす資産回収・買い戻しプログラムにより、画像診断装置と超音波診断装置を約6,700台回収し、515万キログラムの再利用・再生材料を生み出しました。GoldSealによって再生された装置は、所定の品質基準を満たした場合にのみ再設置されます。
- 米国の当社修理オペレーションセンターでは、年間450万キログラムの製品が処理されており、そのうちの80%は物理的にリサイクルされ、埋立地に廃棄されることはありません。

▶▶ 今後の展望

- 気候変動リスク評価を完了します（物理的リスクと機会。ならびに暫定的リスクと機会を含みます）。2023年末の完了を予定しています。
- 気候変動リスク評価から得た情報をもとに、気候変動計画を策定します。
- スコープ1、2、3の温室効果ガス排出量について、実質ゼロに向けたロードマップを策定し、2023年末までにSBTiに目標を提出し、検証を受けます。
- 支出の上位70%を占めるサプライヤーに、科学的根拠のある気候影響削減目標に取り組んでもらうという当社の目標を推進します。当社は、これらのサプライヤーから第三者調査データを収集することで、この取り組みを開始する予定です。

社会

👥 多様性、公平性、包括性の推進

- 新たな文化的経営理念を策定および通知し、GEヘルスケア社内にこれらの理念を根付かせるため、複数年にわたる段階的かつ統合的な変革プロセスに着手しました。
- 性別間および米国において過小評価されているマイノリティにおいて平等な賃金を世界中で100%達成しました。
- 10人から成る多様性ある取締役会を設立しました。そのうち40%が女性、30%が人種的/民族的に多様で、20%が米国外で生まれた人たちです。取締役会のリーダーも多様性に富んでおり、取締役会の指導的地位（リードディレクター、監査委員会の委員長、指名・ガバナンス委員会の委員長）の60%を女性が占めています。

💖 質の高いヘルスケアへのアクセス拡大

- ヨウ素含有造影剤への世界的な需要急増に対応するため、ノルウェーの造影剤メーカーActive Pharmaceutical Ingredients社（API社）に出資を行いました。
- 病院以外の被災地で使用できるよう、ウクライナに500万ドル相当の救命医療機器を提供しました。
- 2023年初めにトルコで発生した大地震に際して、100万ドル相当の携帯型超音波診断装置とX線透視装置を寄贈しました。

▶▶ 今後の展望

- 黒人/アフリカ系アメリカ人、人種的/民族的マイノリティ、および女性の人材を発掘する手段をグローバルに構築するために、重点的な取り組みと行動を強化します。
- サプライヤー・ダイバーシティ・ポータルの上昇を継続し、すべての背景が明確である多様なサプライヤーがGEヘルスケアと十分に連携し、機会を最大限に活用できるようにします。
- 2024年にGEヘルスケア財団を設立するなど、企業慈善活動戦略を展開します。
- 世界中の従業員が地域社会で重要な役割を果たせるよう、ボランティア活動戦略を再構築します。

ガバナンス、倫理、説明責任

🏛️ ガバナンス、倫理、コンプライアンス・プログラムの拡大

- 独立系上場企業として設立されました。年次取締役選挙や職務が明確に定められた筆頭独立取締役などの強力なコーポレートガバナンス規定を備え、スーパーマジョリティ規定、ポイズンピル、デュアル・クラス・シェア構造は設けていません。
- The Spirit & The Letter*（GEヘルスケアの行動規範）を10ヶ国語で再発行しました。
- 従業員の99.7%がこの行動規範を読み、これを理解したと述べました。

▶▶ 今後の展望

- 気候変動リスク評価の完了次第、最新のTCFDレポートを発行します。また、2024年には、ESGの優先事項について情報提供するために最新の重要性評価を発行するなど、当面の透明性と報告を強化します。
- ESGの情報とデータの開示に使用する報告基準を拡大します。GEヘルスケアは、2023年7月に国連グローバル・コンパクトに参加しました。現在、当社のサステナビリティの優先事項と取り組みが、国連の持続可能な開発目標（SDGs）とどのように足並みをそろえられるか模索中です。この分析の結果は2024年に完了する予定です。

社会への影響

ヘルスケアへのアクセスの拡大

当社は、十分なサービスを受けられていない患者のニーズに対応するパートナーやお客様にとって役立つ製品を設計・開発することを目指しています。

製品

この目標の達成に役立つGEヘルスケア製品の一部をご紹介します。

- Vscan Air
- Mobile CT in a Box
- AMX Navigate
- Mural™ Solution for Labor and Delivery

コラボレーション

ヘルスケアへのアクセスを拡大する取り組みの一環である当社のコラボレーションプログラムをいくつかご紹介します。

- タイで移動式CTシステムを設置
- 東南アジアの心臓病センターに包括的なソリューションを提供
- コンゴ民主共和国に移動式X線装置と心電図装置を提供
- 高度放射線治療へのアクセス拡大と促進
- 中国で農村医師を養成
- 中国で乳がん啓発活動を促進
- アフリカとラテンアメリカで医療画像診断の専門家を育成
- 南アフリカで放射性医薬品へのアクセスを改善

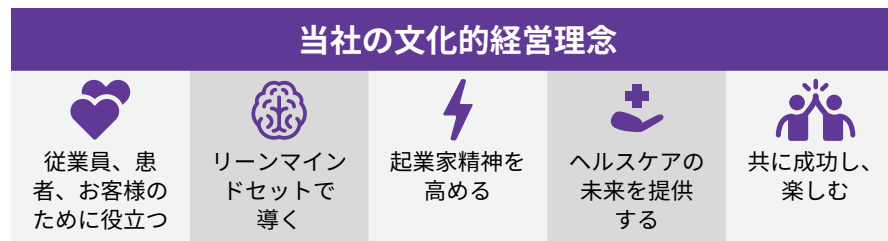
寄付

- ウクライナに500万ドル相当の救命用超音波診断装置と監視装置を提供
- ナイジェリアのNGO4団体に携帯型超音波診断装置30台を提供
- トルコに100万ドル相当の携帯型超音波診断装置とX線透視装置を寄贈
- 中国に45万ドル以上相当の超音波診断装置を提供

従業員への支援

私たちは目標を達成できる文化を構築するために共に協力しています。当社にとって最も価値ある資産のひとつは、高い評価を得ている堅実かつ安定したグローバル人材です。当社従業員の68%は米国外にいます。

文化的変革



文化的変革のプロセス

当社の新しい文化と文化的経営理念を前進させることは、プログラムやイニシアチブだけの問題ではありません。当社は、複数年にわたる段階的かつ統合的な変革プロセスを通じて、GEヘルスケアの企業文化の変革に着手してきました。新しい文化とその理念の導入を推進し、会社のエコシステム全体でその新しい文化のサステナビリティを促進するために、全組織レベルで認識と理解を一致させることが当社の目標です。初年度は、主に組織全体の理解と連携を深めることに注力しました。

従業員の健康とウェルビーイング

安全はGEヘルスケアにとって最も重要です。当社の責務は、私たちのために働くあらゆる人が安全な方法で業務を遂行できるようにすることであり、同時に安全な職場環境を常に維持するよう努めることでもあります。

測定基準	2022年指標
負傷・疾病の合計記録割合 ¹	0.34
死亡事故 - 従業員および請負業者	0

¹ フルタイム労働者100人当たりの業務上の負傷・疾病の年間発生件数。米国労働安全衛生局（OSHA）の記録要件を全世界に適用した場合の負傷および疾病。

多様性、公平性、包括性

当社は、GEヘルスケアがサービスを提供する地域社会を代表するような、多様で公平かつ包括的な環境を従業員に提供することに注力しています。また、給与についても、競争力があり平等な給与を提供できるよう定期的に見直しています。

2022年の賃金平等性データ²

グローバル	米国	
100%	100%	101%
性別間	黒人／アフリカ系アメリカ人	その他の民族多様性

多様性の測定基準

性別間グローバルデータ

リーダーシップ ³	プロフェッショナル ⁴	全従業員
34.2%	33.7%	32.1%
女性	女性	女性
+3.8%	+0.5%	+0.4%

データは2021年のデータとの比較です

米国の民族データ

リーダーシップ	プロフェッショナル	全従業員
23.6%	25.1%	28.6%
-1.1%	+0.8%	+1.4%

データは2021年のデータとの比較です

米国のデータ

2.4%	9.9%
障害者	退役軍人

² 当社の賃金平等性の結果には、11カ国の米国の黒人/アフリカ系アメリカ人およびその他の民族的に多様なプロフェッショナルからエグゼクティブの従業員までが含まれます（米国および500人以上の対象従業員がいる上位10カ国で、この母集団は全世界のプロフェッショナルからエグゼクティブまでの従業員の75%を含んでいます）。

³ リーダーシップとは、エグゼクティブ（中間管理職）以上の従業員を指します。

⁴ プロフェッショナルとは、プロフェッショナルおよびシニア・プロフェッショナルの従業員を指します。

環境への影響

気候変動

GEヘルスケアは、健全な環境と健康的な人々の関係を評価しています。気候変動は、きれいな空気、安全な飲料水、十分な食料、安全な住居など、健康の社会的・環境的決定要因に影響を与えます。当社による排出量をさらに削減するために行動を促進することは、私たちの責任です。GEヘルスケアは2つの温室効果ガス排出削減目標を設定しています。

- 2019年を基準として、2030年までに事業活動による排出量（スコープ1およびスコープ2）を50%削減する
- 2050年までに排出量実質ゼロを達成する

当社の炭素削減計画の主な構成要素

要素1：施設の温室効果ガス排出量削減

- 過去2年間、当社最大の事業所は温室効果ガス削減ロードマップを使用してきました。2023年には、施設にアスペクト&インパクト・レジスターを含む新しいELMツールを導入することを求められています。
- 当社は温室効果ガス排出削減プロジェクト専用の中央基金を設立し、2021年と2022年には約650万ドルをエネルギー削減プロジェクトの推進に費やしました。これを受け、これらのアイデアやプロジェクトをGEヘルスケアの企業文化や業務にさらに完全な形で統合する方法について、継続的な議論が行われるようになりました。

要素2：車両からの排出量削減

- 当社は世界中で1万台以上の車両を保有しています。2020年以降、当社はプラグインハイブリッド車（PHEV）と電気自動車（EV）を世界中で1,150台以上導入しました。
- EUで当社が保有する車両によりこの動きを先導しています。現在、注文済みで納車待ちの75%以上がハイブリッド、PHEV、EVです。

要素3：再生可能エネルギーへのシフト

- 欧州の14カ所と米国の4カ所で100%再生可能な電力を購入しました。

当社の取り組みにより、スコープ1とスコープ2の温室効果ガス排出量が以下のように削減されました。

スコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出量



基準年（2019年）に対する変化率



循環型経済

循環性に対応するため、製品のライフサイクル全体にわたって製品と部品を再構築しています。これは、設計、製造、調達、流通、設置、サービス業務、そして製品の利用に至るまで多岐にわたっています。また、部品や責任を持ってリサイクルを行うための回収システムなど、当社の機器のライフサイクルが終わりを迎えたときに、お客様や医療エコシステムにリファービッシュやリサイクルのオプションを提供しています。また、ライフサイクル延長のための買い取りも行っています。

リファービッシュ

GoldSealは通常1年間で、約6,700台の画像診断装置と超音波診断装置を世界中で回収しています。GoldSealプログラムは、取引により戻ってきた装置を買い取ります。

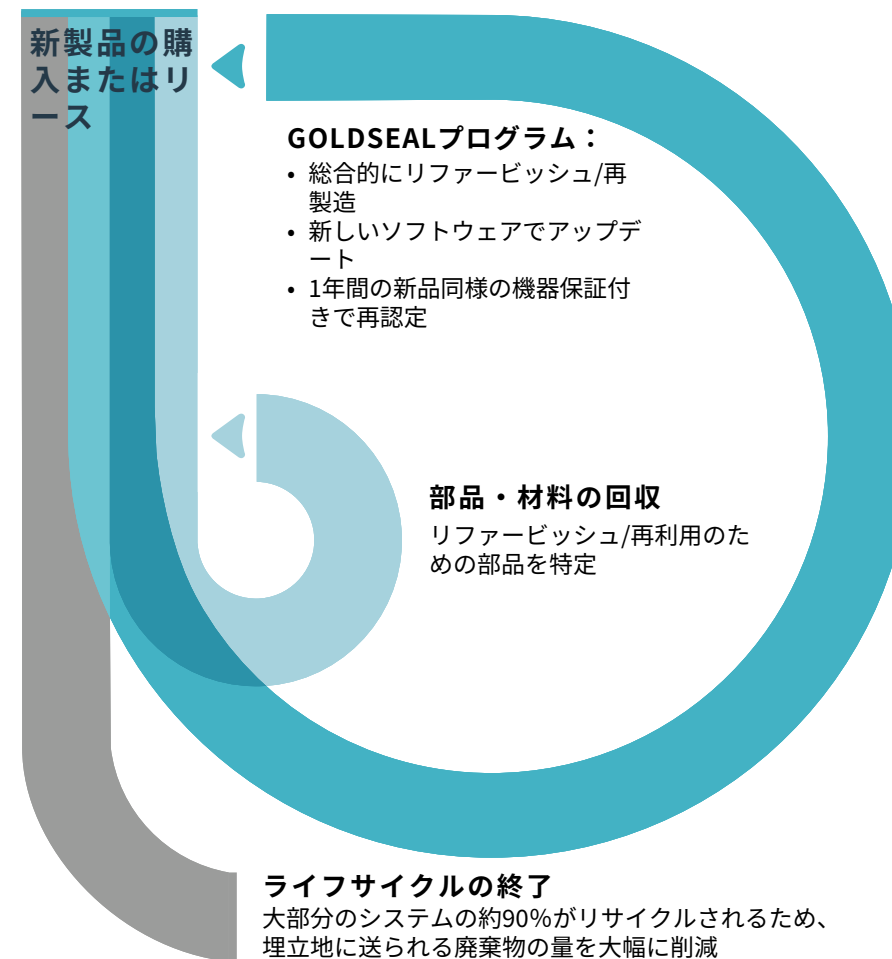
修理/回収

GEヘルスケアには、ISO 13485品質システムを使用した認証プロセスを通じて認定された回収部品のカタログがあります。

リサイクル

回収に適していない場合、GEヘルスケアは大部分のシステムをリサイクルします。その一例として、GEヘルスケアの修理オペレーションセンター（ROC）の一部であり、当社の世界最大のリサイクルセンターでは、年間450万キログラムの製品が処理されています。そのうち約80%が物理的にリサイクルされるため、埋立地での埋め立ての必要はありません。

画像診断システムの再利用重量（キログラム）	3,783,136
超音波診断装置再利用重量（キログラム）	505,621
合計再利用重量（キログラム）	5,149,177



ガバナンスと説明責任

コーポレートガバナンスの概要

GEヘルスケアにおけるガバナンスの枠組みは、会社を監督する取締役会の指針であり、サステナビリティ・プログラムの基礎となるものです。

取締役会。 10人から成る取締役会のメンバーのうち4名が女性、3名が人種的/民族的に多様で、2名が米国外で生まれた人たちです。

取締役会のリーダーシップ。 議長とCEOの役割は分離されています。これにより、委員長は取締役会レベルで戦略と議題の設定を推進することができ、CEOはその戦略を実行する責任を維持することができます。取締役会には独立したリードディレクターもいます。リードディレクターは、委員長と協力して取締役会の議題を設定し、独立取締役の代表として追加的な監督を行います。

取締役会委員会の構造。 取締役会は、監査委員会、指名・ガバナンス委員会、人材・文化・報酬委員会の3つの委員会を通じて監督責任を果たします。各委員会の委員長およびその他の委員はすべて独立して機能します。

製品の品質と安全性

GEヘルスケアは、お客様とその患者のみなさまのニーズを満たす安全で効果の高い製品を作り、医療従事者が患者のみなさまの治療効果を改善しながら、日々直面する臨床的、運用的、経済的な課題を解決できるよう尽力しています。製品とサービスの品質は、当社の評判において非常に重要な要素であり、競争力の基盤でもあります。

当社は品質に関するグローバルポリシーを設けており、自らの運用状況を同ポリシーに照らし合わせて測定するという管理責任を定め、これを実践しています。また、重要な意思決定のために情報を収集し、これをチェックし、バランスを取ることができる組織構造を維持しています。

品質に関するグローバルポリシーの一環として、GEヘルスケアの全従業員は以下のことに取り組んでいます。

- すべての製品とサービスにおいて、患者の安全と顧客満足に情熱を注ぐこと。
- GEヘルスケアの製品およびサービスが提供されているすべての国における、安全、品質、性能要件に関する法律と規制を遵守すること。
- 当社の製品、サービス、デバイス品質管理システム (QMS) および医薬品QMS (該当する場合) を常に改善すること。

サイバーセキュリティ

GEヘルスケアは、多面的なアプローチでサイバーセキュリティのリスクという複雑な課題に取り組んでいます。

サイバーセキュリティに対する当社のアプローチは、次の**4つの信条**に基づいています。



安全な企業の推進

当社および当社のサプライチェーン全体でサイバーセキュリティを推進するためのシステムとプロセスを導入する。



安全な製品の開発

製品のライフサイクルを通じて、設計、開発、保守にサイバーセキュリティを組み込む。



安全なサービスの提供

革新的なテクノロジー、プロセス、リスク軽減を通じて、サービス全体のセキュリティとプライバシーを向上させる。



サイバーセキュリティに関するマネージドサービスとコンサルティングサービスの提供

Skeyeソリューションなどのマネージドサービスを通じて、オペレーション、システム、データの安全確保を支援する。

